国語・200字作文対策

生徒用｜独自問題13問｜解答は別冊

対象	東京都立高校共通問題を受検する中学3年生
単元	作文（条件整理・資料理解・主張・理由・具体例・段落構成・200字以内）
問題構成	基礎5問・標準5問・本番形式3問
対象点数	国語50〜70点を目指す層
難易度	基礎〜標準
目標時間	120分
公式確認日	2026-07-30

教材の目的

設問条件を正確に確認し、資料や文章の内容を踏まえ、自分の考えを理由や具体例とともに表現する力を養います。基礎から本番形式へ段階的に進み、200字以内で構成を整え、誤字脱字や文末表現まで自分で見直せるようにします。

都立入試に向けた確認事項

東京都教育委員会の令和8年度国語基本方針では、説明的な文章を正しく読み取り、構成を工夫しながら相手や目的に応じて自分の意見を論理的に表現する力をみるとされています。参考採点資料では、テーマに即した意見、本文の主張を踏まえた記述、意見の根拠となる具体的な体験や見聞が観点として示されています。本教材はこれらを練習用に一般化し、文章・資料・設問・解答例をすべて独自作成しています。

書く手順

・設問の「踏まえる資料」「書く内容」「理由・具体例」「字数」に線を引く。

・資料の要点を十五字程度、自分の主張を十五字程度でメモする。

・主張、理由、具体例、まとめの順に材料を並べる。

・資料の言葉を写すだけにせず、自分の考えとのつながりを示す。

・一文を長くしすぎず、接続語と指示語が何を指すかを確かめる。

・句読点やかぎ括弧も一字として数え、最後に字数を再計算する。

見直しチェック

・設問で求められた内容をすべて含めている。

・資料や文章の要点と自分の考えがつながっている。

・主張が一文で言えるほど明確である。

都立入試ナビ

・主張を支える理由がある。

・必要な場合は具体的な体験、見聞、例がある。

・段落ごとの役割が分かれ、話題が飛んでいない。

・文末表現が不自然に混ざっていない。

・主語と述語、接続語、指示語の関係が明確である。

・句読点・記号を含めて指定字数内である。

・誤字脱字、送り仮名、同じ語の重複を見直した。

句読点・かぎ括弧も原稿用紙の一字として数える前提で練習します。改行そのものは文字数に含めません。

基礎問題

問題 1

場面：昼休みの読書時間について、学級で意見を書く。

資料A｜昼休みの過ごし方（教材用の架空資料）

ある学級では、昼休みの最初の十分間を静かに本を読む時間にする案が出た。落ち着いて午後の授業を始めやすいという意見がある一方、友達と話す時間も大切だという意見もある。

設問

資料Aを踏まえ、読書時間を取り入れる案への自分の意見と、その理由を一つ書きなさい。

条件

・案への賛成または反対を明確にする。

・資料Aの内容に触れる。

・理由を一つ書く。

・40〜90字で書く。

指定字数：40〜90字

作文欄（1行20字×5行＝最大100字）

問題 2

場面：清掃活動について、主張と理由を区別して書く。

都立入試ナビ

会話｜清掃当番の話合い（教材用の架空資料）

美咲「分担を毎週変えると、いろいろな場所の掃除を経験できるね。」 蓮「同じ場所を続ける方が、上手な掃除の仕方を工夫できると思うよ。」

設問

会話を踏まえ、清掃場所の分担を毎週変えることへの自分の主張と理由を書きなさい。

条件

・自分の主張と理由を区別する。

・会話のどちらかの考えに触れる。

・50〜100字で書く。

指定字数：50〜100字

作文欄（1行20字×5行＝最大100字）

問題 3

場面：短い文章を、始め・中・終わりの順に組み立てる。

資料B｜朝のあいさつ運動（教材用の架空資料）

生徒会は、校門でのあいさつ運動を一週間行った。参加した生徒からは、普段話さない人とも言葉を交わせたという感想が出た。

設問

資料Bを踏まえ、あいさつのよさについて、始め・中・終わりが分かる短い文章を書きなさい。

条件

・あいさつのよさを主張する。

・資料Bの感想を踏まえる。

・最後に今後の行動を書く。

・70〜120字で書く。

指定字数：70〜120字

作文欄（1行20字×6行＝最大120字）

都立入試ナビ

問題 4

場面：主張を支える具体例を加える。

資料C｜本を紹介する活動（教材用の架空資料）

図書委員会は、好きな本を一分で紹介する時間を設けた。紹介を聞いた後、今まで選ばなかった分野の本を借りた生徒がいた。

設問

資料Cを踏まえ、本を人に紹介することのよさを、具体例を一つ加えて書きなさい。

条件

・本を紹介することのよさを書く。

・資料Cを踏まえる。

・自分の体験または想定した具体例を一つ加える。

・80〜130字で書く。

指定字数：80〜130字

作文欄（1行20字×7行＝最大140字）

問題 5

場面：文末表現を統一して意見文を書く。

資料D｜学級連絡の方法（教材用の架空資料）

都立入試ナビ

学級では、翌日の持ち物を黒板と共有画面の両方に示している。どちらか一方だけを見る生徒もいるため、伝え方をそろえる必要があるという意見が出た。

設問

資料Dを踏まえ、大切な連絡を確実に伝える方法について、「だ・である」調で統一して書きなさい。

条件

・連絡方法について自分の考えを書く。

・資料Dの課題を踏まえる。

・文末を「だ・である」調に統一する。

・80〜130字で書く。

指定字数：80〜130字

作文欄（1行20字×7行＝最大140字）

標準問題

問題 6

場面：地域行事への中学生の参加について意見を書く。

資料E｜地域の防災訓練（教材用の架空資料）

町会の防災訓練では、参加者の多くが大人であった。運営者は、中学生が受付や避難経路の案内を担当すれば、地域の人と顔を合わせ、災害時に協力しやすくなると考えている。

設問

資料Eを踏まえ、中学生が地域の防災訓練に参加することについて、自分の考えを理由と具体例を含めて書きなさい。

条件

・資料Eの提案を踏まえる。

・自分の考えを明確にする。

・理由と具体例を含める。

都立入試ナビ

・120〜170字で書く。

指定字数：120〜170字

作文欄（1行20字×9行＝最大180字）

問題 7

場面：簡単なアンケート結果を読み、学級活動を提案する。

資料F｜学級で増やしたい活動（教材用の架空資料）

活動	回答数
話合い	12
読書紹介	9
運動	8
作品展示	6

設問

資料Fを踏まえ、学級で新しく行う活動を一つ提案し、その理由と実施方法を書きなさい。

条件

・表の数値を一つ以上用いる。

・活動を一つ提案する。

・理由と実施方法を書く。

・120〜170字で書く。

指定字数：120〜170字

作文欄（1行20字×9行＝最大180字）

都立入試ナビ

問題 8

場面：二つの意見を整理し、自分の立場を示す。

資料G｜調べ学習の記録（教材用の架空資料）

葵「調べたページの要点をすぐ共有文書に書けば、班全体で進み具合が分かるね。」 直人「まず自分のノートに整理してから共有した方が、情報を確かめて書けると思うよ。」

設問

資料Gの二つの意見を踏まえ、調べ学習の記録方法について、自分の考えと理由、具体的な手順を書きなさい。

条件

・二つの意見の違いを踏まえる。

・自分の立場と理由を書く。

・具体的な手順を示す。

・130〜180字で書く。

指定字数：130〜180字

作文欄（1行20字×9行＝最大180字）

都立入試ナビ

問題 9

場面：字数内に内容をまとめるため、情報を選ぶ。

資料H｜係活動の引継ぎ（教材用の架空資料）

放送係は、機器の操作手順、よく起こる失敗、行事ごとの注意点、担当者の感想を引継ぎ文書に残している。しかし、文書が長くなり、必要な情報を探しにくいという課題が出た。

設問

資料Hを踏まえ、引継ぎ文書を分かりやすくする方法について、残す情報を選び、その理由とともに書きなさい。

条件

・資料Hの課題を踏まえる。

・残す情報を二つ以上選ぶ。

・選ぶ理由を書く。

・130〜180字で書く。

指定字数：130〜180字

作文欄（1行20字×9行＝最大180字）

都立入試ナビ

問題 10

場面：二段落で、経験と考えを整理する。

資料I｜失敗を記録する学習（教材用の架空資料）

ある生徒は、正解だけでなく、間違えた理由と次に試す方法を学習ノートに書いている。後で見返すと、自分が同じ種類の間違いを繰り返していることに気付けたという。

設問

資料Iを踏まえ、失敗を記録することについて、自分の経験と考えを二段落で書きなさい。

条件

・資料Iの内容を踏まえる。

・自分の経験を一つ書く。

・経験から得た考えを書く。

・二段落、140〜180字で書く。

指定字数：140〜180字

作文欄（1行20字×9行＝最大180字）

都立入試ナビ

本番形式問題

問題 11

場面：学校図書館の利用を増やす方法について、独自文章を踏まえて書く。

文章A｜選べる場所としての図書館（教材用の架空資料）

図書館は、本を借りる人だけの場所ではない。静かに考えたい人、友達と資料を比べたい人、知らない分野の入口を探す人など、目的の異なる人が自分に合う学び方を選べる場所である。大切なのは、利用者を一つの使い方に合わせるのではなく、目的に応じた小さな選択肢を用意することだ。

資料J｜図書館を利用しない主な理由（教材用の架空資料）

理由	回答数
読みたい本が分からない	18
利用できる時間を知らない	11
話合いに使えると思わない	9
場所が遠い	4

設問

文章Aの考えと資料Jを踏まえ、学校図書館の利用を増やす方法について、あなたの意見を書きなさい。

条件

・文章Aの「目的に応じた選択肢」という考えを踏まえる。

・資料Jの数値を一つ以上用いる。

・自分の意見を明確にする。

・理由または具体例を含める。

・二段落、180〜200字で書く。

都立入試ナビ

指定字数：180〜200字

作文欄（1行20字×10行＝最大200字）

問題 12

場面：地域の交流会を続ける方法について、独自文章と会話を踏まえて書く。

文章B｜役割が生む参加（教材用の架空資料）

人は、ただ招かれるよりも、自分にできる小さな役割があると集まりに参加しやすい。役割は得意なことを示す機会になるだけでなく、他の人に声を掛ける理由にもなる。ただし、役割を固定すると負担になるため、選び直せる仕組みが必要である。

会話｜地域交流会の相談（教材用の架空資料）

係の人「交流会への中学生の参加が少ないです。」 中学生「何をする会なのか分からず、初めて一人で行くのは不安です。」

設問

文章Bと会話を踏まえ、中学生が地域交流会に参加しやすくなる方法について、あなたの意見を書きなさい。

条件

・文章Bの役割についての考えを踏まえる。

・会話中の不安に対応する。

・具体的な方法を一つ以上示す。

・自分の考えと理由を書く。

・二段落、180〜200字で書く。

指定字数：180〜200字

作文欄（1行20字×10行＝最大200字）

都立入試ナビ

問題 13

場面：情報を確かめて伝えることについて、独自文章と資料を踏まえて書く。

文章C｜速さと確かさ（教材用の架空資料）

情報を早く伝えることは、助けを必要とする人に届くまでの時間を短くする。しかし、確かめないまま広めると、訂正にも時間がかかり、受け手の判断を迷わせる。速さと確かさは反対ではなく、確認の手順を短く共有することで両立できる。

資料K｜学級連絡を共有する前の確認（教材用の架空資料）

手順	確認すること
1	発信者と日時
2	元の連絡文
3	変更の有無
4	共有する相手

設問

文章Cと資料Kを踏まえ、情報を共有するときに大切なことについて、あなたの意見を書きなさい。

条件

・文章Cの「速さと確かさを両立する」という考えを踏まえる。

・資料Kの手順を一つ以上用いる。

・自分の意見を明確にする。

・理由または具体的な経験を含める。

・二段落、180〜200字で書く。

都立入試ナビ

指定字数：180〜200字

作文欄（1行20字×10行＝最大200字）

提出前の最終確認

・設問で求められた内容をすべて含めている。

・資料や文章の要点と自分の考えがつながっている。

・主張が一文で言えるほど明確である。

・主張を支える理由がある。

・必要な場合は具体的な体験、見聞、例がある。

・段落ごとの役割が分かれ、話題が飛んでいない。

・文末表現が不自然に混ざっていない。

・主語と述語、接続語、指示語の関係が明確である。

・句読点・記号を含めて指定字数内である。

・誤字脱字、送り仮名、同じ語の重複を見直した。

公式情報確認日：2026-07-30 自己確認日：____年__月__日

都立入試ナビ